

小規模移動放牧のすすめ

小規模移動放牧とは...

耕作放棄地、水田、里山などで牛を飼養し、草が無くなると移動させる放牧のことです。

安価で扱いやすい電気牧柵をつかって、簡単に行うことができます。

これまでの調査で、適切な放牧を行えば周辺の水質や臭気に問題はないことが確認されています。



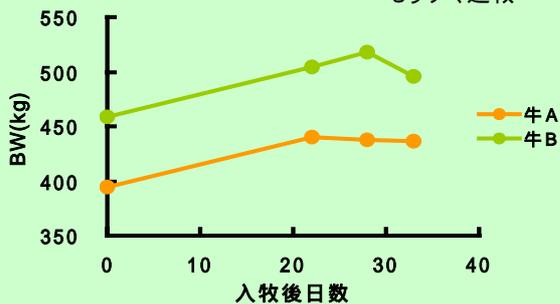
野草だけで体重を維持できます



放牧開始



草が無くなってきたのでもうすぐ退牧



飼料代が節約できます

成雌牛(体重500kg)の維持に要するTDN量
3.75kg/day
 (日本飼養標準 肉用牛 2000年度版)

	TDNあたり 単価(円/kg)	90日分の 飼料代(円)
スーダン乾草	110.6	37,328
チモシー乾草	101.4	34,223
オーツヘイ	91.6	30,915
飼料イネWCS	66.9	22,579
放牧	0	0

イノシシ被害の減少に



転作作物の1候補として



放牧を始めてみませんか？



荒地の解消に



定年後の楽しみとして

